



北海道大学

# 北大URAが目指すもの

北海道大学 理事・副学長  
川端 和重

# 国立大学法人の機能



国立大学として全国一律  
に提供すべき機能

国立大学法人化  
＜自主自律＞  
自分の道は  
自分で決める。

評価  
社会的な存在意義  
この大学にしかないもの

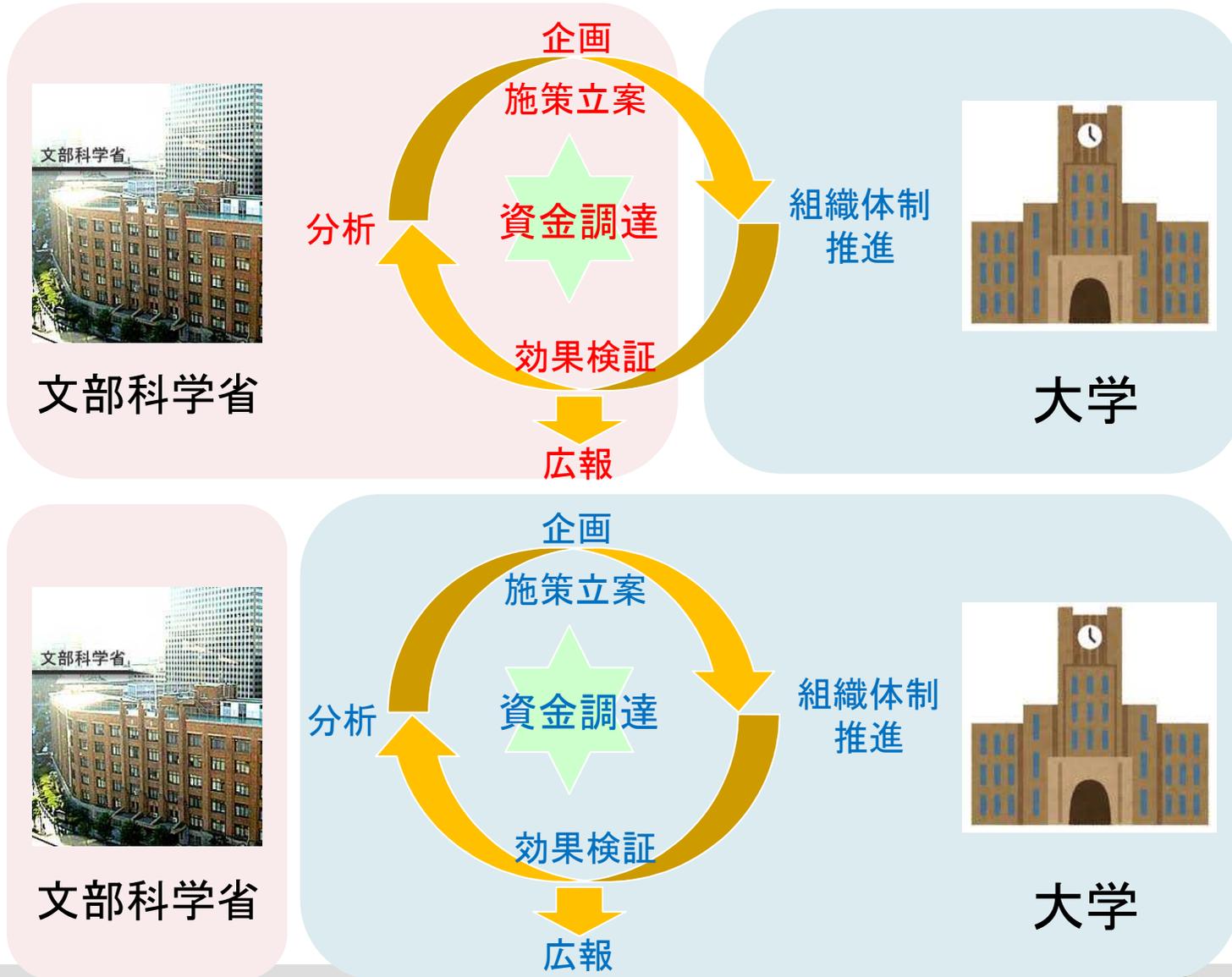
研究  
教育  
社会貢献

大学としての機能

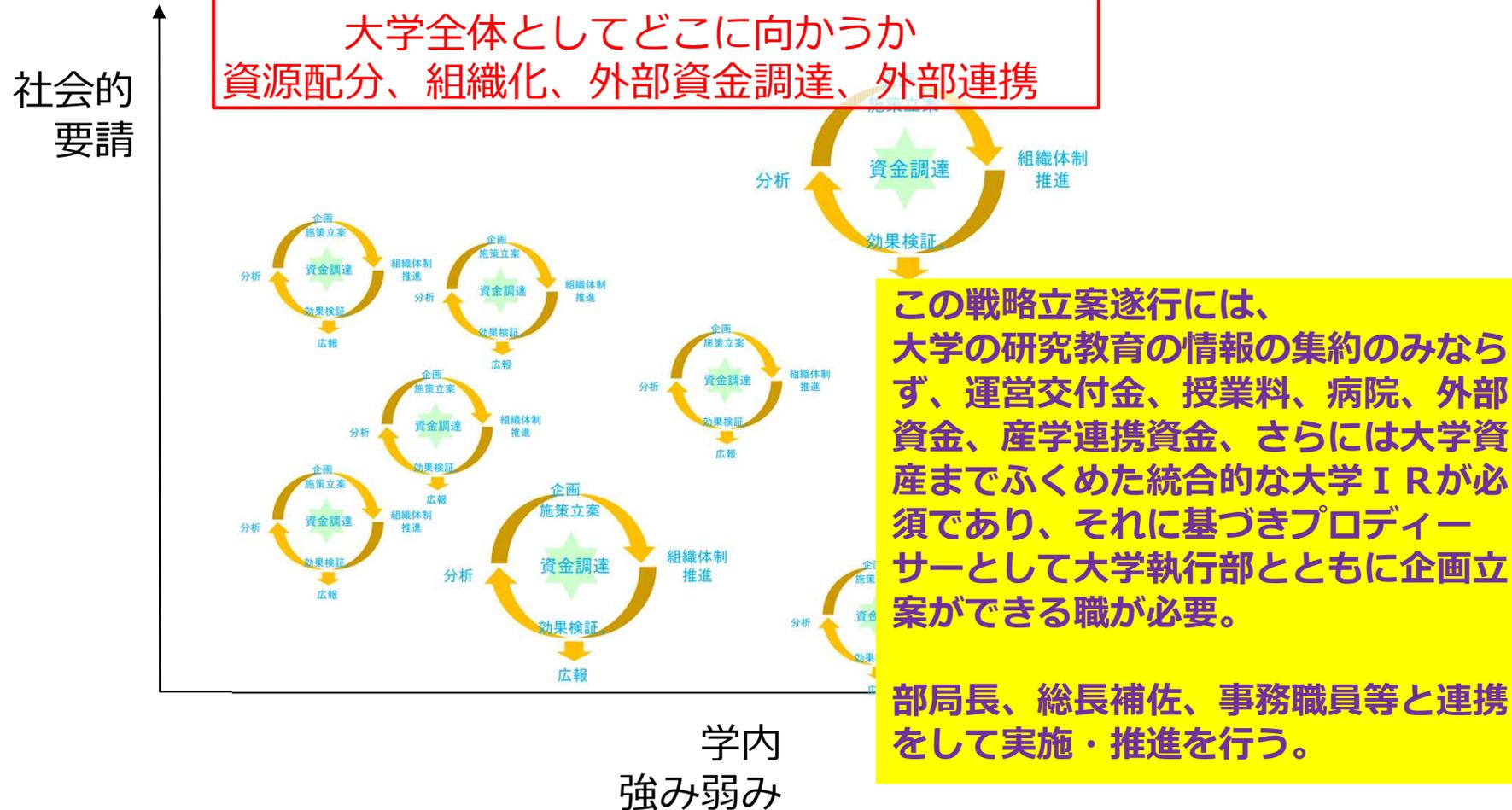


大学法人として自律的・組織  
的に個性化した機能

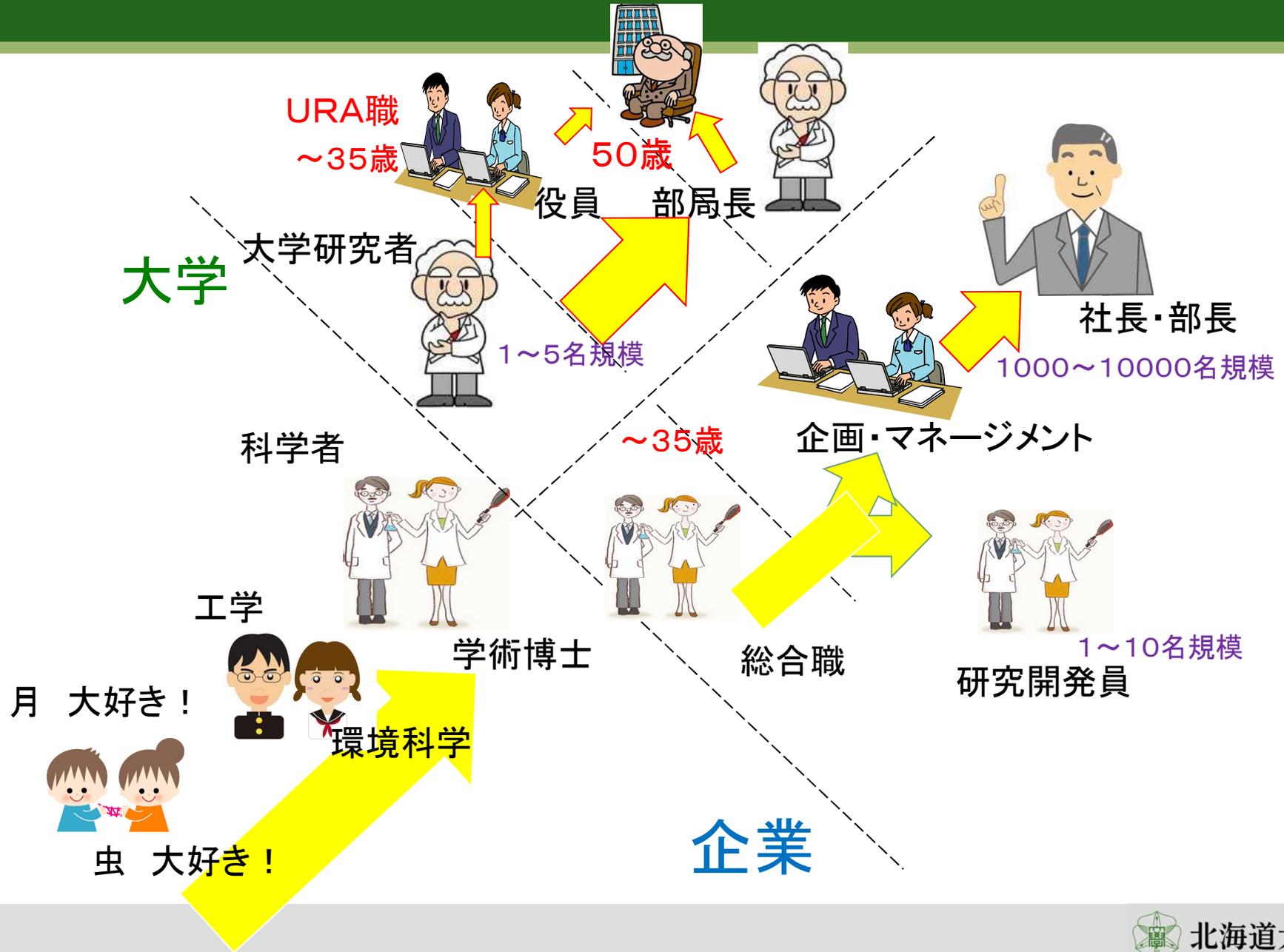
# 大学の持つべき機能も変わる



# 資源配分戦略



# URAキャリアパスについて



# 北大ではURA機能は進化した！

## Before

- ✓ 研究の企画立案、資金の調達管理……………  
 科研費や競争的資金を増やす  
 科研費書類を添削して、採択率を上げる

個別研究者支援



## After

- ✓ 科研費や競争的資金を増やす  
 → 仕組みをつくる
- ✓ 共同研究を増やす仕組みを作る
- ✓ 学内活動の事業化を行う（事業化、設備資金調達）
- ✓ 他大学ではできない研究のランドマークを作る
- ✓ 資産の活用を考える

プロデューサー機能・大学経営マネージメント



# URA職の創設

## ● U R A 職を恒久的な職

2014年5月 URA職創設WGを設置。教員，事務職員（人事課，研究推進部），URAで構成し，多様な視点から原案を作成し，適宜，関係役員及び財務関連部局と協議を繰り返しながら，制度設計。

### 「大学力強化推進本部」の中心にURAステーションを位置付け

「大学力強化推進本部」は、本学が将来において備えるべき研究力の強化及び教育研究活動の国際的な展開を図る上で必要な事業を推進することを目的として設置（本部長：総長）。

### 「URA職」の創設

- ・総長のガバナンスにより，2014年12月 役員会において「URA職」を創設し，13名を任期の定めのない職として配置することを決定
- ・研究戦略企画及び研究推進支援業務を職務とする者の職群を，「URA職」として一本化

## ● 全学的な理解の広がり

研究担当理事一部局長懇談会の実施  
(全28部局)



部局財源による「URA職」及びURA業務を担う職員が拡大

## URAのキャリアパスの整備

次世代の本学の大学経営を担う幹部候補生

10名テニユアURA職

